

(補足説明資料)

緊急時モニタリングの体制整備事業

事業内訳と概要

①緊急時放射線モニタリング情報共有・公表システムの更改及び保守

国及び地方公共団体が実施する放射線モニタリングの結果等を集約し公表するシステムとして平成27年度から運用している「緊急時放射線モニタリング情報共有・公表システム」について、現行システムを保守運用する。また、より安全性・安定性が高い効率的なシステムとするため、平成29年度から次期システムの検討を実施しており、平成31年度から次期システムを構築する。

②緊急時モニタリング資機材等の整備・維持

原子力規制事務所に緊急時モニタリング資機材を配備し、維持管理する。

③緊急時モニタリングセンター(EMC)の整備・維持

緊急時にEMCを立ち上げる拠点に必要な設備を維持管理する。

①緊急時放射線モニタリング情報共有・公表システムの更改及び保守 6.2億円

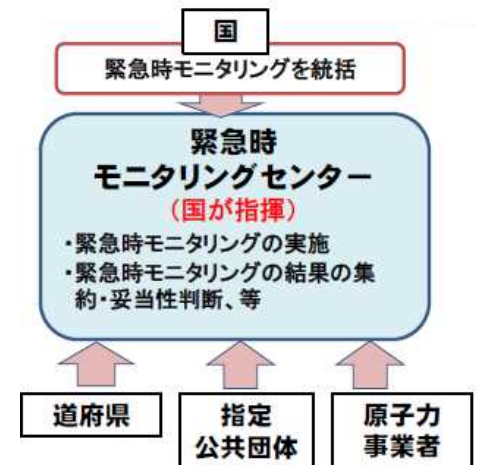


②緊急時モニタリング資機材等の整備・維持 2.4億円



国の緊急時モニタリング資機材を整備・維持し、緊急時に備える

③緊急時モニタリングセンター(EMC)の整備・維持 3.2億円



放射線モニタリングを統括するための拠点を整備し、緊急時に備える

事業計画及び事業費見込

(単位:億円)

事業内訳	H29	H30	H30 事業を統合・整理後	H31(R1)	R2
①緊急時放射線モニタリング情報共有・公表システムの更改及び保守 (詳細は次ページ参照)	・現行システムの保守運用の一部 (富士電機システム分)	・現行システムの保守運用の一部 (富士電機システム分)	・現行システムの保守運用、機能拡充 ・次期システム調達仕様書作成	・次期システム調達仕様書作成終了 (▲1.2) ・次期システム構築(+2.8)	
(事業費見込)	0.1	0.1	4.6	6.2	6.3
②緊急時モニタリング資機材等の整備・維持				・モニタリング資機材修繕等費(+0.4)	・モニタリング資機材サーバ維持費(+0.1) ・モニタリング資機材等修繕費(▲0.4) ・自動車修繕・維持管理等費等(+0.4)
(事業費見込)	②③計 8.2	②③計 6.6	2.0	2.4	2.5
③緊急時モニタリングセンター(EMC)の整備・維持				・Windows更新に伴う整備(+0.2)	・Windows更新に伴う整備終了(▲0.2) ・Ge半導体検出器廃棄(+0.2)
(事業費見込)	②③計 8.2	②③計 6.6	3.0	3.2	3.2
計	8.4	6.7	9.6	11.8	12.0

※差の1.6は②③から①に流用

ずれは四捨五入による

事業計画及び事業費見込

①緊急時放射線モニタリング情報共有・公表システムの更改及び保守

(単位:億円)

事業内訳	H29	H30	H30 事業を統合・整理後	H31(R1)	R2
現行システム保守運用 (富士電機システム分)					
		※差の1.6は②③から①に流用			
	0.1	0.1	1.7	1.7	1.7
現行システム保守運用 (原安技システム分)					
	(0.5)	(0.5)	0.5	0.5	0.5
現行システム機能拡充 (富士電機システム分、原 安技システム分)					
	保守運用契約との区別のため便宜上「機能拡充」と呼称するが現行システムの運用を維持するために不可欠				
	(委託費 1.9)	(委託費 1.2)	1.2	1.2	1.3
次期システム設計					
	(委託費 1.2)	(委託費 1.2)	1.2	0	0
次期システム更改及び保 守					
	-	-	-	H31年度構築開始	H32年度中 運用開始
	0	0	0	2.8 (5年国庫債務)	2.8 (5年国庫債務)
計	0.1	0.1	4.6	6.2	6.3

カッコに記載の額は、本事業(緊急時モニタリングの体制整備事業)外の予算である。
委託費とは、緊急時対策総合支援システム整備等事業委託費を指す。H31(R1)予算から本事業に統合している。